

環境思想・教育研究

2014年 第7号

◆ 特集論文Ⅰ 世界史・人類史と環境思想——3・11を念頭におきつつ

人類史における拡大・成長と定常化——資本主義の変容と地球倫理.....	広井良典	1
危機の時代、人類社会の未来を見通すために ——環境・経済・社会編成がはらむ諸矛盾への分析視角.....	古沢広祐	11
生命論的世界観の協同探求と日本仏教思想 ——文明的転換の共生社会理念の共有のために.....	亀山純生	18
人類史・世界史の構造の新たな理解へ向けて ——マルクスの歴史観と将来社会の構成要素の基礎づけにかかわって.....	尾関周二	25
Rethinking Modernity in Asia.....	In-Suk Cha	39
The Certainty of Risk.....	Massimo Negrotti	46
Colliding with Reality.....	Arran Gare	52

◆ 特集論文Ⅱ 今なぜ環境哲学か——環境倫理学との関係を問いつつ

環境哲学と環境倫理——哲学の実践と理論.....	桑子敏雄	60
環境哲学の現代的課題——生物多様性の問題を中心に.....	入江重吉	69
環境思想と福島原発事故.....	岩佐 茂	77
哲学者たちと動物.....	河野勝彦	83
環境哲学の一つのプログラム——自然哲学と倫理学を統合すること.....	片山善博	89
環境哲学と環境倫理学の位置付けをめぐる一試論 ——“環境哲学”をキーコンセプトとする環境思想研究の射程.....	上柿崇英	96

◆ 環境思想・教育研究会 第1回 研究大会 報告Ⅱ

〈環境教育特別セミナー「青森の自然を書(描)く——ネイチャーライティングの授業への導入の可能性をさぐる〉 環境教育特別セミナー「青森の自然を書(描)く ——ネイチャーライティングの授業への導入の可能性をさぐる」企画経緯と総括.....	降旗信一	102
郷里の自然と風物を愛した詩人・村次郎の詩魂と作品世界.....	上條勝芳	104
自然の変化をどう見るか——白神自然観察園の取り組みを通して.....	中村剛之	108
ネイチャー・ライティングの授業への導入の可能性をさぐる.....	藤 公晴	111
〈フォーラム「安藤昌益のふるさと青森から〈農〉の復権を考える」 「共生持続社会」の構築にむけて——安藤昌益の思想をてがかりとして.....	福井朗子	119
H. アーレントとともに安藤昌益を読む——アーレントの「世界」と「労働」の再構築.....	市原あかね	126

◆ 一般研究論文

人間と自然の関係における狩猟の意義.....	伊勢俊彦	134
3・11後の風土論的思考.....	森末治彦	141
柳田国男における農政論の構造——川田稔『柳田国男の思想史的研究』を読む.....	趙 晁観・黄 薇姍	149
Plants in <i>Richard III</i>	Yukiko Mori	155
Situational Analysis of Child Labor in Afghanistan.....	Khal Mohammad Ahmadzai / Ryoichi Yamazaki	161
The Influence of Development Ethics on Human Political Life.....	Lingling Guo	167
John Locke and the Native Americans: Early English Liberalism and Its Colonial Reality.....	Nagamitsu Miura	175

◆ 書評

岩田好宏『環境教育とは何か——良質な環境を求めて』.....	丹野春香	181
総合人間学会編『3・11を総合人間学から考える』.....	布施 元	185

◆ 環境思想に関する海外学術情報

Stefano Gattei (ed.), <i>Nature without Dogmas: For a Rational Approach to Environmental Debate</i> (<i>Natura senza Dogmi: Per un Approccio Razionale al Dibattito sull'Ambiente</i>).....		188
In-Suk Cha, <i>The Mundialization of Home in the Age of Globalization: Towards a Transcultural Ethics</i>		190